

特定非営利活動法人

ハンズオン!埼玉 

2012 年度 第 8 回総会議案書

2012.6 ～ 2013.5

2012年度のまとめと課題

私たちの暮らしや社会は、私たち自身がつくることができる。そのためにどんなコミュニケーションを創り出していくことができるか——今年度も会員やボランティア、あるいは企業、行政のみなさんとさまざまな活動を行ってきました。

■東日本大震災および原発事故による避難者は、県内でまだ6000人以上と言われています。ハンズオンとしては、県内全域の避難者および支援者のネットワークづくりの動きに参加し、たくさんの方々のご協力をいただいて『福玉便り』を継続して月刊で発刊しました。三年目を迎えて、それぞれのこれからの暮らしをどうするか、帰還するのか、定住するか、選択を迫られている方が増えています。しかし、政府や自治体の動きをみないとわからないことも多く、さらに放射能についての考え方もそれぞれ違う中で、決めあぐねている方がたくさんいらっしゃいます。今後も、県内20数カ所であちがっている避難者・支援者のグループや交流会の動きと連動し、つながりの輪をひろげながら、どんな選択であっても、お一人おひとりの決断・気持ちを尊重・応援するという方針で活動していきたいと考えています。

■今年新規事業として、「ハンズオン埼玉！出版部」をつくり、青木将幸さんと『市民の会議術 ミーティング・ファシリテーション入門』を発行しました。誰もが自分の暮らしや社会のありように参加することができる、自らが当事者であると思えるような運営をするには、ファシリテーションの考え方と技術は、必須であると考えました。著者の青木さんとの共同作業で、ハンズオンらしい遊び心あふれる本ができました。発刊以来たくさんの方にお買い上げいただき、5月末現在で2,266冊を販売することができました。読者からは「数多くのノウハウやファシリテーターとしての心構えは、著者の経験に裏打ちされていてとても参考になる」「イラストもかわいくて読みやすい」「読み返すたびに新たな発見がある」などの声をいただいています。

■NPO法人を対象とする会計基準の講座を埼玉県共助社会づくり課と協働で実施しました(5～6月)。昨年のNPO法改正の大きなポイントである、「新会計基準」と「認定NPO」についてセミナーと法改正の概要についての説明を県内5カ所で開催し、合計344団体(458人)の参加を得ました。

■福祉作業所のクッキーを通じて「いろんな人・コトがまぜこぜ！」になる「クッキープロジェクト」。今年度もハンズオンは事務局として関わりました。今年度は、協賛企業との交流企画として「デコッパ卓球大会」を開催。バザール開催は2月に移し、バレンタイン企画として「友チョコ」を目玉に売り出しました。事務所前の水曜日のプチバザールも定着し、販路開拓を模索中です。

■ハンズオン埼玉、都市づくりNPOさいたま、さいたま地域通貨フォーラムとともに事務局を担ってきたファンド研は、今年度で閉じることにしました。そこで、最後の企画として、顔の見える小さな助成金「タコファンド」を実施しました。

■「おとうさんのヤキイモタイム」は、かわらず生協パルシステム埼玉、埼玉県労福協などの支援をうけて、8年目も開催し、41のグループが参加してくださいました。都市部の公園などで開催したお父さんのグループもあり、新しい広がりがありました。

■事務局の体制は、事務局長一人専従＋補助という形で運営してきましたが、春から大学との兼務となり、事務局に新しい職員を1名おいて、常務理事、事務局長、事務局員の3名を中心とする体制に変更しています。財政的には事業受託ができず、危ぶまれたのですが、新刊本を出版し、順調に販売できたこともあって、若干の黒字とすることができました。ただ、参加型のプロジェクト運営などには手がまわらず、新しい事業を起こすのは、難しい一年でもありました。

社会はサービス産業化＝消費社会化(お客さん化)をすすめています。その結果、人々は気づかぬうちに、孤立化し、連帯感、他者への共感や想像力を失いつつあります。2013年度は、ハンズオン埼玉のこの10年から生まれたさまざまな知恵を一冊の本にすることで、あらためて私達がなにをしようとし、なにができたかを検証するとともに、孤立化を深める社会に対して、私達なりの、私達らしい提案をしていきたいと思っています。また、その確認の上で、次のハンズオン埼玉のありようを考える一年にしたいと思っています。

ひきつづき、ハンズオン埼玉の活動および運営について、会員のみなさまはじめ多くの方々と模索できればと考えております。

運営の報告

1. 会員数 正会員 28人(前年度 29人) 賛助会員 50人(前年度 53人)
2. 理事会開催 於ハンズオン事務所(住所:浦和区高砂 2-10-6)

第32回 2012.6.29
第33回 2012.10.26
第34回 2013.3.13
(第35回 2013.6.12)

事業報告 1 ● 「新しい公共の担い手」 拡大セミナー事業報告

いちばんわかりやすい新会計基準・認定 NPO セミナー

本事業では、新しい公共の担い手育成のため NPO 法改正の大きなポイントである、「新会計基準」と「認定 NPO」についてセミナーと法改正の概要についての説明を県内 5 か所で開催し、合計 344 団体（458 人）の参加があった。また、当日欠席等の理由により 8 団体へ当日資料の提供をおこなった。（埼玉県共助社会づくり課より受託）

■ 講師



脇坂誠也氏（NPO 法人新会計基準・認定 NPO と新寄付税制）
税理士 NPO 法人会計基準策定委員会副委員長
NPO 会計税務専門家ネットワーク理事長代理 NPO 支援東京会議副代表

中村元彦氏（NPO 法人新会計基準）
税理士 公認会計士 日本本公認会計士協会理事
NPO 法人会計基準策定委員会委員
内閣府特定非営利活動法人の会計の明確化に関する研究会委員



■ 5 会場合計 78 団体 458 名の参加

5 月 14 日（月） 13:30 ～ 17:00	埼玉会館 7 B 会議室	脇坂誠也氏	69 団体 90 人 （内 NPO 60 団体 77 人）	① 新会計セミナー ② 認定セミナー ③ 法改正等説明④交流会
5 月 18 日（金） 13:30 ～ 17:00	東上パールビル 会議室 A・B	脇坂誠也氏	56 団体 72 人 （内 NPO 48 団体 60 人）	① 新会計セミナー ② 認定セミナー ③ 法改正等説明④交流会
5 月 21 日（月） 13:30 ～ 16:30	越谷市中央公民館 第 4 ～ 6 会議室	中村元彦氏	56 団体 73 人 （内 NPO 48 団体 63 人）	① 新会計セミナー ③ 法改正等説明④交流会
6 月 1 日（金） 19:00 ～ 21:00	浦和コミュニティセンター 第 15 集会室	脇坂誠也氏	85 団体 115 人 （内 NPO 79 団体 108 人）	① 新会計セミナー ② 法改正等説明
6 月 8 日（金） 13:30 ～ 16:30	埼玉県熊谷地方庁舎	中村元彦氏	78 団体 108 人 （内 NPO 64 団体 91 人）	① 新会計セミナ ③ 法改正等説明④交流会

■ 成果

①：多くの NPO 法人に対して、NPO 法改正と新会計基準についての情報を提供。

県内東西南北と 5 つの会場でセミナーを実施しましたが、全ての会場でほぼ満席状態となり法改正と新会計基準について、関心や不安のある団体に対してしっかりした情報を提供することができました。寄付を獲得できるかなど参加者同士で意見が交わされました。共に地域で活動する団体同士、この機会を通じて互いを知り、支え合う関係の構築につながりました。

■ 参加者アンケートより
【新会計基準について】
☆ 収支計算書と活動計算書の違いがよくわかった。
☆ NPO の情報公開を促すために NPO 法人会計基準がつくられたことが理解できた。
☆ 会計基準改訂で業務量が大幅に増える予想していた。セミナーを聞いてこれらに対応できそうだと安心した。
【認定 NPO・NPO 法改正について】
☆ 認定 NPO 法人の取得は難しいと思っていたが仮認定制度が導入されたという事を知った。
☆ やはり研修会出席は意味がある。基準をしっかりと理解することは大事だ。参加してよかった。
☆ 認定を取得するかどうかが理事会で話し合いの場をする機会ができた。（認定の有利さを知り）

②：参加者の概ね 9 割の参加者が「役に立った」と回答。

講師陣には、NPO 法人新会計基準の第一人者である脇坂誠也氏や中村元彦氏に公演いただくことで、参加者アンケートからは概ね 9 割の方から「役に立った」との回答をいただきました。

③：個別支援事業につながる、各団体の現状とニーズを明らかに。

本事業は、個別支援事業へのニーズ調査という側面も担っていましたが、参加団体アンケートから各団体の現状とニーズを明らかにすることができました。

担当者から
ひとこと

本事業は、ハンズオンでは珍しく（？）正確な情報をまじめにしっかり知っていただくセミナーでした。本来は眠くなってしまいそうな内容ですが、制度作りにも関わられた、講師お二人の分かりやすいお話にみんな納得。あめ玉配布でブレイクタイムなど、こっそりハンズオンらしさも演出しました。ちなみに素敵な講師をお呼びできたのは、ハンズオン監事寺内さん、設立当初から応援してくださっている中村さんご縁から。人の繋がりに支えられるハンズオンを実感＆感謝です。（とら）

「3 年目、それぞれの気持ちを 応援したい……」

東日本大震災および原発事故の埼玉県内避難へ避難されている方向けの情報誌『福玉便り』の発行を他の団体と協力して継続発行しました。2013 年 4 月からは、赤い羽根共同募金の助成をいただいで発行が継続できることになりました。印刷も引き続き富士ゼロックスの社員ボランティアの皆さんが毎月仕事のあいまに作業してくださいっています。また、(一社) 埼玉労福協さんを事務局として、ほぼ隔月で、『福玉会議』を開催し、県内各地で活動している避難当事者グループおよび、支援者団体の意見交換、交流の場をもちました。

避難者数は政府の発表では 4500 人ですが、福玉便りを発送するために全市町村に確認したところ 6700 人となり、さらに自主避難の方はそこにも含まれていないことも多いようです。高齢の方であれば、いままで人のつながりの中で、日々の仕事があって、という暮らしから、日々することがない。出かけなければ誰とも会えないけれど、どこにでかけていいかわからないという方もいます。自主避難をはじめとした若い世帯は、母子でくらしている方も多く、長期の避難生活で疲れが出ている方もたくさんいらっしゃいます。

「報道も減り『福玉便り』だけを頼りにしている」という声もたくさんいただき、避難者の方をはじめとして、県内外でとても高い評価をいただいています。

避難者のみなさんも、三年目を迎えて、それぞれのこれからの暮らしをどうするか、帰還するのか、定住するか、選択を迫られている方が増えています。しかし、決めるために必要なこと、たとえば、仕事のことや、子どものこと、住宅のこと、賠償のことなど、政府や自治体の動きをみないとわからないことも多く、さらに放射能についての考え方もそれぞれ違う中で、決めあぐねている方がたくさんいらっしゃいます。

今後も、県内 20 数カ所であがっている避難者・支援者のグループや交流会の動きと連動し、つながりの輪をひろげながら、どんな選択であっても、お一人おひとりの決断・気持ちを尊重・応援するという方針で活動していきたいと考えています。



【活動の記録】

『福玉便り』

仕様：月刊 A4 8 ページ

発行部数：4000 部

発行：『福玉便り』編集委員会

- ・一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会
 - ・NPO 法人ハンズオン埼玉
 - ・震災支援ネットワーク埼玉 (SSN) 11 号まで
 - ・生活協同組合コープみらい埼玉県本部 12 号から
- 編集デザイン：NPO 法人ハンズオン埼玉
印刷：富士ゼロックス埼玉端数倶楽部のボランティアのみなさん。

2013 年 5 月現在 12 号までを発行しています。

通常、避難されている方向けに発行しているものとは別に、一般の方向けに避難の状況を知っていただく『春の特別号』を発行しました。

『福玉募金』

福玉便りの発行はじめ、県内避難者支援を継続していくために募金活動を行いました。

2013.3.11 街頭募金

2013.3 ~ 専用口座を設けて福玉募金として寄付をよびかけ

2013.5.31 現在で、210880 円をいただきました。

『福玉会議』

ほぼ隔月で開催 毎回、15 団体以上が参加。



■震災被災者への支援、ありがとうございます。なれ親しんだ福島県浪江町を離れ上尾市で避難生活を送っております。住んでいた家や土地は、あの日これといった荷物も持たぬままに出て、三年経とうとする今でも 3、4 マイクロシーベルト/h の放射線に汚染されています。帰れるめどが立たないままです。何か始めなくてはいいなと思いつつも何をしても無駄に終わってしまう気がして取り組むことが出来ません。しだいに震災避難者関連報道や情報がなくなり、不安に感じる事がありすが「福玉便り」が届くと「私達がここに居る事を忘れないで居てくれる人がいる」と思いつつとします。御手数をお掛けいたしますが、今後とも「福玉便り」を郵送いただきました、よろしく御願いたします。

●福玉便り編集部に
いただいた
メール、手紙より
■こんな私たち親子にも支援の手を差し伸べていただいで感謝しています。福玉便りが手に届くようになってから一人ぼっちの世界から少しずつ解放されています。淋しくなるとき福玉便りを見ると勇気が湧いてくるというか、淋しくなくなります。これから福島のことをよろしく願います。いつまでも何らかの形で皆とつながっていたい、そう願っております。

事業報告3 ●おとうさんのヤキイモタイム

主に父親の地域での仲間づくり、コミュニティづくりをめざした「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンは、今年も自主開催の実行委員会として行いました。昨年同様、無理のない範囲でということで、新規の開催地と東日本大震災および原発事故の避難者の方々と一緒にヤキイモをしてくださるというところを応援することしました。

また、今年度も埼玉県の後援をいただいたほか、さいたま市、加須市からも後援をいただきました。また、ハンズオンとしても、避難者の方にもよびかけて、12月15日（日）「おとうさんのヤキイモタイム at かぞびば」を加須市騎西中央公園にて開催しました。（共催：埼玉冒険遊び場づくり連絡会）

各地からあたたかい報告をたくさんいただきました（一部下記抜粋参照）。

【活動の記録】

2012年9月 開催地募集チラシ配布
10月 受け付け開始
12月15日 おとうさんのヤキイモタイム at かぞびば
11月～2月 県内41カ所で開催
（うち2ヶ所は雨のため中止）

●後援

埼玉県、さいたま市、加須市

●協力、ご寄付など

- 生活協同組合パルシステム埼玉様
おもい10kg×39カ所分をご寄付いただきました。
- （一社）埼玉県労働者福祉協議会様
運営にかかる費用の一部をご寄付（15万円＋お芋の発送費用）いただきました。



2012年

- 11.11 [東松山市] 東松幼稚園お父さんの会「グリーンピース」/ 園庭
11.17 [飯能市] 飯能市立吾野小学校 PTA / 校庭
11.17 [伊奈町] しらがね小室幼稚園 / 園庭
11.17 [さいたま市] 北浦和図書館&厚徳幼稚園 / 園庭
11.17 [越谷市] NPO 法人子育てサポーター・チャオ / 雨のため中止
11.23 [川越市] ルンビニ幼稚園るんびにパパの会 / 園庭
11.23 [熊谷市] 熊谷市第2くろみ保育園 / 園庭
11.23 [草加市] 草加市氷川児童センター / 館庭
11.24 [本庄市] ほほえみ会保護者有志「ほほえみバース」/ 園庭
11.25 [越谷市] しらこばと会（西方小学校おやじの会）/ 校庭
11.25 [所沢市] 北秋津小学校子ども遊び場 / 校庭
12.1 [日高市] 日高富士見台幼稚園父母会 / 園庭
12.1 [東松山市] きらめきクラブいちのかわ / 園庭
12.1 [東松山市] きらめきクラブまつに / 園庭
12.1 [東松山市] 東松山市放課後児童クラブ きらめきクラブたかさか / 園庭
12.1 [桶川市] 桶川市人権・男女共同参画課 / 川田谷こどもの森
12.1 [志木市] 志木りんくす / 校庭
12.1 [東松山市] きらめきクラブしんめい有志の会 / 園庭
12.1 [東松山市] きらめきクラブからこ / 園庭
12.1 [所沢市] NPO 法人所沢市学童クラブの会 / 新所沢緑町中央公園
12.2 [新座市] 特定非常利活動法人暮らしネット・えん / お庭
12.2 [川口市] 綾瀬川を愛する会 / 川口市綾瀬の森
12.8 [鶴ヶ島市] 鶴ヶ島保育所子育てセンター /

鶴ヶ島保育所隣の広場

- 12.8 [春日部市] 春日部市立上沖小学校 PTA おやじの会 / 体育館前の花壇
12.9 [三郷市] 三郷市立幸房小学校 「おやじの会」 / 小学校第2グラウンド
12.15 [草加市] つどいの広場ばぶハウス / しのは公園
12.15 [狭山市] 風の森狭山台みどり幼稚園おやじの会 / 園庭
12.15 [加須市] かぞびば / 騎西中央公園
12.16 [新座市] 東北三原あそぼう会 / 新座市立下東公園（通称ライオン公園）

2013年

- 1.6 [鶴ヶ島市] 鶴ヶ島市学童保育の会もじやまクラブ / 園庭
1.12 [松伏町] ゆたか保育園有志&ご近所「やきいもファイヤーズ」 / 園庭
1.12 [川越市] 初雁幼稚園公式親父倶楽部はん会 / 伊佐沼農業ふれあいセンター体験農園
1.19 [さいたま市] ひなどり幼稚園父母の会 / 園庭
1.19 [狭山市] 御狩場小学校おやじの会 / 校庭
1.19 [川口市] 柳崎小やなぎの会（おやじの会） / 校庭 ←雪のため中止
1.20 [上尾市] 上尾市立東小学校体育館前ロータリー / 体育館前ロータリー
1.26 [狭山市] 狭山市立中央児童館育 MEN クラブ / 児童館駐車場
1.27 [さいたま市] さいたま市立宮前小学校おやじの会 / 宮前小学校図書室付近
1.2 [さいたま市] 尾真木オヤジ会 / 尾間木内谷公園
2.9 [上尾市] 尾山台おやじの会 / 園庭
2.24 [坂戸市] 坂戸市立児童センター / 園庭



で、使料■市(小)さいやじの(小学校)日感のの好ま景のういう日常景が日常的にあるのが好きのかなど感じた一日でした。
（小学校おやじの会）
さいたま市
■竹を燃
料としての
使った折



■どうしても通りすがりの人を巻き込んだり、たわいない話をしたりしました。本日は、この風景が日常にあるのが好きのかなど感じた一日でした。
（小学校おやじの会）
さいたま市
■竹を燃
料としての
使った折

爆竹の音がするのですが、子供たちも普段聞くことの出来ない本物の爆竹に大興奮でした。風も無かったため安全に竹炭にする事が出来ました。竹炭（オキ）が出来たところで、みんなで芋を放り込んで、芋が焼けるのを待ちました。その間、田んぼで遊んだり、竹串に刺したマッシュマロをあぶって食べたりして楽しみました。今回は、ご提供いただいたお芋の他にジャガイモも焼いたのですが、いずれも非常においしく焼くことができたと思います。後日、初めて参加されたお父さん方から聞いたのですが、親せきや会社の人に、このヤキイモタイムの話をすると驚かれ、羨ましがられたとのことでした。（幼稚園のお父さんの会）
川越市
■ドラム缶を7ヶ所用意したところ、こちらが指示しなくてもそれぞれお父さんが2名ずつついて、子どもたちを仕切って火起こしやヤキイモ作業をしてくださいました。自分たち以外の子どもとコミュニケーションを取りながら（時にアドバース、叱り、じゃれあいながら）火を見守るお父さん達の姿がみんな笑顔で「みんな子どもを育てている」になっただけで、微笑ましかったです。初めは仲の悪い保護者同士が固まっていたが、火を起してこの種火を譲り合う事で、相互の関係ができていった。また、突然の通り雨と雹が降ってきた大騒ぎになったが、その場の全員が協力して撤収作業をした。そのおかげで、急に一体感が生まれて、その後の会話がとても弾んでいた。
「トランプは、あまり親密ではない間柄を一気に縮めるモノ」だと感じた。（放課後児童クラブ）
（東松山市）



■焚火の番は自然と父親たちが中心となり、手際よく点火から芋の投入までが進んだ。用意していた燃料（材木、約3平米）は子どもたちの手で一度に投じられた。そのため、途中で燃料が足りなくなり、急遽、焚火の番をしていた父親たちが相談をして、近くのホームセンターまで木炭の買い出しに行くことになった。適度なハブニングがコミュニケーションを促進させていたのが印象的だった。（近所の公園で知り合った人たちで、開催されたヤキイモタイム・朝霞市）
■どうしても通りすがりの人を巻き込んだり、たわいない話をしたりしました。本日は、この風景が日常にあるのが好きのかなど感じた一日でした。
（小学校おやじの会）
さいたま市
■竹を燃
料としての
使った折



ほんの
きもち

バレンタイン企画「友チョコ」!

★クッキー
バザール

at
浦和コルソ
開催!

2月1 (金)
2 (土)
3 (日)



バザールの目玉は、バレンタイン大作戦「友チョコ」

福祉作業所のクッキーを通じて「いろんな人・コトがま
ぜこぜ!」になるクッキープロジェクト。ハンズオンは
事務局として関わりました。今年度は、協賛企業との交
流企画として「デコッパ卓球大会」を開催。バザール開
催は2月に移し、バレンタイン企画として「友チョコ」
を目玉に売り出しました。事務所前の水曜日のプチバザ
ールも定着し、販路開拓を模索中です。

【活動の記録】

★説明会&ディスプレイ研究

	内容	参加人数
第一回 1/12	長机1つでできるディスプレイ 講師：澤田麻里絵さん（コワーキングスペース7F）	45人
第二回 1/18	ポップづくり 講師：澤田麻里絵さん（うらわコミュニティセンター）	40人
第三回 3/1	売上100万円達成パーティ （コワーキングスペース7F）	40人



講師・澤田麻里絵先生（クリエイター、
元専門学校日本デザイナー学院教員）



レジャ売り場、ボランティアのご協力に感謝

★プチバザールの記録



毎週水曜日 11時半～13時 プチバザール at ハン
ズオン前

お客さんとの一期一会エピソード

・バザールでうちのパウンドを購入したという
上尾の方から、「とっても美味しかった。お店
で買うのと変わらない美味しさでした。」とわ
ざわざお電話をいただきました。嬉しいですね。
励みになります(^ ^) V【大宮太陽の家・吉
川さん】

・澤田先生が飾り付けを31日夜と、1
日朝に最終確認をしてくれたことに
感謝。そして、パレスホテルの差し入
れ3日間、楽しみでした。【若林さん】



パレスホテル大宮さんの協力
でござうが並んだ!



打合せ会で利用したご縁から、コワーキングス
ペース7Fにて「置きクッキー」開始

ご参加・ご協力
ありがとうございました!

●参加作業所

みどりの風（三郷市）
吉川フレンドパーク（吉川市）
幸手学園（幸手市）
すいーつぱたけ（川口市）
晴れ晴れ（川口市）
桶川ワークハウスさいとも（桶川市）
しびらき（さいたま市桜区）
ほっとラウンジ（さいたま市浦和区）
Tida 大宮太陽の家（さいたま市大宮区）
お菓子工房 CoCo（さいたま市大宮区）
シンフォニー（新座市）
第3川越いもの子作業所（川越市）
こすもす作業所（坂戸市）
かわせみ（日高市）
あゆみ作業所（深谷市）
よるべ（滑川町）

●2012年度 協賛企業 法人サポーター

株式会社タムロン
中央ろうきん さいたま支店
東京ガス株式会社 埼玉支店
毎日興業株式会社
ラダーススポーツ
白田ファインモータースクール
OKUTA
コワーキングスペース office 7F
株式会社世田谷社
合同会社橘
デンダ歯科クリニック
パッケージプラザ大宮店
ペットハート便
株式会社森島工務店

●協力

コミュニティプラザコルソ
パレスホテル大宮
富士ゼロックス埼玉端数倶楽部

●福玉バッグ協力

佐藤 美恵

●サポーター

2012年度 個人サポーター 20人
法人サポーター 4団体



担当者から
ひとこと

バザール5回目を記念して3日
間開催。特に金曜日の売れ行き
がとっても好調でした。いろん
な場所で「浦和のコルソで、クッキー
買ったことあるわよ」という人に会う機会が増
え、継続はチカラナリを実感しています。運営
メンバーでアイデアを出し合ったり、イベント
を切り盛りしたりとチームができてきたのもう
れしい成果です。これからも、持ち寄りで運営
できる方法で続けられたらと思います。(わかお)

デコッパ卓球選手権

10月7日、デコッパ卓
球大会を開催、60人が
参加しました。デコッ
パとは、デコレーショ
ンしたスリッパのこと。
工夫を凝らしたデコ
で、アート性を、日頃
の鍛錬の成果で得点
を競い合いました。賞品
を地元企業さんらにご
協賛いただいただきま
した!感謝。



6



おめでとうございます

- 【総合優勝】
🏆 日本リサーチ総研チーム
- 【競技部門】
🏆 優勝：CoCo ッパC
🥈 準優勝：日本リサーチ総研チーム
🥉 第3位：なかちゃんやまちゃん
- 【アート部門】
🏆 優勝：コロチチーム（しびらき）
🥈 準優勝：日本リサーチ総研チーム
🥉 第3位：CoCo ッパA



～女の対決～

大波乱の!? 当日の模様よ... YouTube

デコッパ 検索 🔍

事業報告 5 ● 埼玉地域ファンド研究会（事務局）

ハンズオン埼玉、都市づくり NPO さいたま、さいたま地域通貨フォーラムとともに事務局を担ってきたファンド研ですが、顔の見える小さな助成金を実践し、会を閉じることにしました。（メーリングリスト登録 142 人）

企画会議
6.20

パブリックリソースブック
(埼玉版助成ガイドブック)
作成に向けて

企画会議
2013
2.21,
4.23

「小さなファンド」をつくる

第 49 回
11.12

「企業の社会貢献担当者連絡会（仮）」
についての情報交換会

第 50 回
5.8

最終回 タコファンド発表会（審査会）



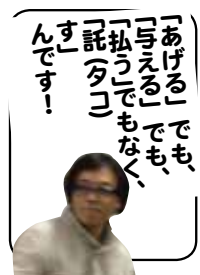
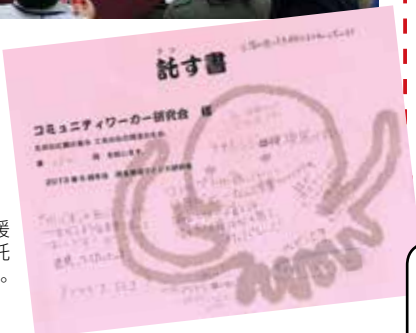
タコファンド

互いに支え合うこれからのファンド



地域にまだまだこんなにたくさんの方からものがあつた。あと 1 円でキリがいい？助成金に釣り銭を要求!? たくさんの方の「助けて」が世界を救った!?

プレゼン団体には、応援メッセージの寄せ書き「託す書（タコスジョ）」を贈呈。



事務局：長岡 素彦



伍ビール&タコ焼きでタコタコ。



タコ委員長：阿部陽一郎



評価ではなく応援したい気持ちの交換をお酌方式が実現！

これは助成金の革命だ

特徴③ プレゼンはお酌方式！

参加者 30 人が 4 テーブルに分かれて着席。プレゼンターは、居酒屋のように、「ほんと大変なんです。どうか一つよろしく…」などとお酌しながら各テーブルをめぐる。「参加者どうしが丁寧に対話することを大切にしました。」

特徴② タコ(他)紹介が基本！

助成金獲得が苦手な知り合いの団体さんや、これから何か始めたい仲間をファンド研メンバーが推薦。

特徴① 応募条件がシンプル！

「ファンド研 M1 参加者の推薦があること。これまでの実績、費用費目、対象分野など、一切問いません。」と顔の見える関係だけに、できるだけ簡単に。報告書提出も不要です。

no	団体名	得票	順位	金額
1	しかてぶくろ界隈を笑顔でいっぱいしようの会	6 票	4 等	10200 円
2	浦和の街かど愛好会 (あんこプロジェクト)	12 票	3 等	20400 円
3	コミュニティワーカー研究会	4 票	5 等	6800 円
4	お菓子工房 COCO	16 票	1 等	50000 円
5	ていにー☆ていにー	12 票	3 等	20400 円
6	スーパー猛毒ちんどん	13 票	2 等	30000 円
	——当日飛び込み参加——			
7	わこわこ冒険チーム	2 票	7 等	3550 円
8	ニアデザイン	2 票	7 等	3550 円
9	カラッポのおうちの会	3 票	6 等	5100 円

1 等大ダコ賞 5 万、2 等小ダコ賞 3 万。さらに追加の寄附 7 万円を、3 位以下の団体に配分しました。※受賞した活動の詳細は HP 上の「月刊タコ速」をご参照ください。

参加者から
ひとこと

「お金」をシェアすることより、「思い」がシェアされていく感じがおもしろかった。

宮崎秀代氏

ファンドの新しい可能性を見たかもしれない…!

市川徹氏

担当者から
ひとこと

助成金の申請書を上手に書けなくても、いい活動をしている人はけっこういる。そんな草の根の活動を応援しようと企画したファンドでした。タコヤキ食べて、9 団体の思いも聞かせてもらって、ああ幸せ。ファンド研参加者のみなさん、8 年間ありがとうございました!





『市民の会議術 ミーティング・ファシリテーション入門』市民のミーティングファシリテーションの第一人者、マーキーこと青木将幸さん、初めての著書。みんなが社会の当事者となれるための会議のアイデア・赤裸裸に語られる失敗談・心得を志賀壮史さんのかわいいイラストとともに。「表紙裏の裏話」「付録のお茶コーナーのお作法」にハンズオンらしさがこもっている必読の書。

ファシリテーション講座の教科書として使っていたたり、口コミで広げていただいたりした結果、5月末現在で2,266冊を販売。読んだ方からは「数多くのノウハウやファシリテーターとしての心構えは、著者の経験に裏打ちされていてとても参考になる」「イラストもかわいくて読みやすい」「読み返すたびに新たな発見がある」などの声をいただいています。

2日間の青木さんの事務所のある淡路での合宿企画会議、一字一句を校正してくださった方、印刷屋さんとのあたたかいやりとり、委託販売を引き受けてくださる方、注文の際などにコメントをくださる読者の方々…、みなさんの思いに大感謝！

2012.11.2 (金)
@うらわコミュニティ
センター15集会室
参加者 48人



～発売初日！いきなり読書会&特別対談青木将幸 vs 吉田理映子



発売当日、著者本人を淡路島からお招きして、出版記念イベントを実施しました。前半はマーキー進行による、ひとりで読むより何倍も深めて何倍も広げて読める「いきなり読書会」。後半は、マーキーと吉田理映子の対談、その名も、「ファシリテーションvsカブリケーション」。いつもは聞き役に徹する(のでその実態があまりよくわからなかった)マーキーがカブって(ずうっとカブってくれていた・涙)、インタビュー吉田理映子によって脱がされて行く。「活動家としての僕よりファシリテーターとしての僕のほうがどうもみんなが喜んでくれるみたい……。」いろんな人がちょっとずつ力を出せるようにすることで社会が変わることになるんだ、と納得した一夜でした。

マーキーの妻・京ちゃんによる「お茶コーナー」
心のこもったおもてなしにほんと、染みました。



長野県森林組合謹製、熊よけの鈴
淡路海岸産、語り石
特製、手縫ぞうきん



三種の神器セット「もう一冊」と7セットお買い求めいただきました。
会場設営はぞうきんメイトのみなさんがお手伝いいただきました。



出版当日ということでイベント直前まで予約販売分の発送に追われるスタッフ。

アイスブレイク研究会

出版をうけて、会議や講座やイベント・授業で、メンバーの緊張感を解きほぐし、リラックスして交流や活動に参加してもらうために、効果的なアイスブレイクの持ち寄り実践研究会を実施しました。それぞれの持ちネタの披露に始まり、用意した書籍から面白いネタを色々チャレンジ。毎回、10個以上のネタを体験し終えた時には、参加者同士もわきあいあいと仲良しになっていました。学生さんの参加も多く、それぞれの活動に活用していただくことができました。



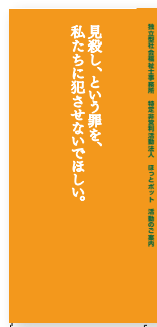
日時	会場	参加人数
2月4日(月) 18:30～21:00	さいたま市 市民活動サポートセンター	6
2月18日(月) 18:30～21:00	浦和コミュニティセンター 第4集会室	12
3月9日(土) 10:00～17:00	東大宮コミュニティセンター 第1集会室	12
3月18日(月) 18:30～21:00	浦和コミュニティセンター 第4集会室	14





『開発教育』
NPO 法人 開発教育協会よりデザインを受託。

『私のだいじな場所 公共施設の市民運営を考える』
言わずと知れた、ハンズオン永遠のベストセラー。とうとう、残部 19 冊！



NPO 法人
ほっとポットリーフレット
企画デザインを受託。

「教員のためのリフレクション・ワークブック」デザインを受託。

事業報告 7 ●講師派遣事業

日時	分類	テーマ	依頼者	担当
7月4日	講師	聖学院大学人間福祉総論	聖学院大学	川田
8月1日	講演	社会教育主事講習	九州大学	西川
8月31日	講演	保育所保護者支援研修会	日本保育協会	西川
9月3日	講師	リーダーの心構え	聖学院大学学生部	川田
9月11日	講師	ボランティアの役割	栗橋済生会病院	川田
9月14日	シンポジスト他	区市町村ボランティア・市民活動センター運営委員及びセンター長拡大会議	東京市民活動ボランティアセンター	西川
10月24日	講演	すみだガバナンスリーダー養成講座	墨田区	西川
11月4、7、18、20	講師	さいたま市防災ボランティア養成講座初級編	地域計画連合	若尾
10月6日	講師	広報講座	沼田市市民活動センター	吉田
11月6日	講演・ファンリ	公益系活動団体交流会	中野区	西川
11月9日	講師	広報講座	さいたま市社会福祉協議会	吉田
11月14日	講師	NPOパワーアップ講座・協働っておもしろい！	地域協働推進機構	若尾
11月17日	講師	広報講座	徳島市市民活動センター	吉田
11月23日	講演	藤女子大学保育学科特別公開講座	藤女子大学	西川
11月30日	講師	広報講座	沖縄環境教育フォーラム	吉田
1月12日	講演	ババスクール	さいノババ	西川
12月7日	講師	広報講座	さいたま市社会福祉協議会	吉田
12月8日	シンポジスト	子育て市民活動支援者養成講座	NPO法人子育て市民活動サポートWII	西川
12月9日	講師・ファンリ	女性＝健康プロジェクト 地域プロジェクト交流研修会	社団法人日本リサーチ総合研究所/MSD	吉田 若尾・川田
12月19日	講演	コミュニティワーク・ゲスト講師	岩手県立大学	西川
2月5日	講演	“遊ぶ”を社会化するためのフォーラム	TOKYOPLAY	西川
2月12日	コメンテーター	大学の力を活用した子育て・子育て支援のプログラムの検討公開研究会	弘前大学	西川
2月16日	講演	CSO活動支援セミナー	佐賀県	西川
2月20日	講演	被災者・支援者をこえて～“つながり”としての地域を考える～震災特別講座	多摩子育て支援センター	西川
2月26日	講師	広報講座	世田谷文化財団・生活工房	吉田
3月1日	講演	福井県公民館後期セミナー	福井県公民館連合会	西川
3月2日	講師	広報講座	東村山市役所	吉田
3月7日	講演	市民・市職員合同研修 公共施設の市民運営を考える	NPO法人市民活動サポートセンター いなぎ	西川
3月25日	事例提供	トークセッション「遊ぶ機会を確保する！」	港区	西川
4月12日	講師	NPO法人実務の学習	NPOさいたまユースサポートネット	若尾
5月10日	講師	広報講座	獨協大学	吉田
5月10日	講師	視察研修会	真岡市市民活動推進センター	若尾・谷居
5月10日	講師	社会福祉協議会の現状と可能性	地方政治改革ネット	川田
5月11日	講師	生活クラブ越谷研修「会議力アップ：効果的な会議の方法」	NPO法人大人の学校	川田
5月22日	パネリスト	パネルディスカッション「シェアする社会をつくる」・・・「支援」を越えて	NPO法人アクションポート横浜	西川
5月25日	講師	生活クラブ熊谷研修「会議力アップ：効果的な会議の方法」	NPO法人大人の学校	川田

●委員 西川 ● 桶川市協働推進委員会アドバイザー・さいたま市市民活動推進委員会委員 若尾 ● 埼玉県地域福祉支援計画推進委員・草加市ふるさとまちづくり応援基金運営委員・さいたま市社会福祉協議会評議員 川田 ● 日高市ボランティアセンターのあり方に関する検討会議委員・草加市ふるさとまちづくり応援基金運営委員

会計報告 1 ●活動計算書

2012年06月01日～2013年05月31日

(単位:円)

(経常増減の部)

I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費	240,000		
賛助会員会費	126,000		
受取会費計		366,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	436,380		
受取寄付金計		436,380	
3. 受取助成金			
受取民間助成金	361,300		
受取助成金計		361,300	
4. 事業収益			
自主事業収入	4,338,150		
受託事業収入	3,767,556		
事業収益計		8,105,706	
5. その他収益			
受取利息	587		
雑収益	120,000		
その他利益計		120,587	
経常収益計			9,389,973

II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	929,600		
法定福利費	33,211		
人件費計	962,811		
(2) その他経費			
売上原価	1,781,540		
会議費	57,430		
交際費	0		
旅費交通費	325,073		
通信運搬費	506,750		
消耗品費	116,160		
新聞図書費	7,130		
研修費	0		
印刷製本費	159,120		
諸謝金	975,832		
雑費	81,130		
書籍販売原価	0		
その他経費計	4,010,165		
事業費計		4,972,976	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	1,708,800		
法定福利費	295,317		
人件費計	2,004,117		
(2) その他経費			
会議費	5,590		
交際費	10,000		
旅費交通費	152,940		
通信運搬費	162,889		
消耗品費	26,816		
新聞図書費	45,645		
研修費	28,711		
雑費	12,769		
水道光熱費	69,266		
支払地代家賃	671,000		
諸会費	47,290		
租税公課	600		
その他経費計	1,233,516		
管理費計		3,237,633	
経常費用計			8,210,609
当期経常増減額			1,179,364
経常外収益計			0
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			1,179,364
法人税、住民税及び事業税			70,000
税引後当期正味財産増減額			1,109,364

【別表】事業別損益の状況

(単位:円)

科目	NPO支援	福玉便り	ヤキモタイム	クッキーPJ	講師派遣	書籍出版	事業部門合計	管理費部門合計	合計
I 経常収益									
1. 受取会費							0		0
正会員会費							0	240,000	240,000
賛助会員会費							0	126,000	126,000
受取会費計	0	0	0	0	0	0	0	366,000	366,000
2. 受取寄付金							0		0
受取寄付金			150,000				150,000	286,380	436,380
受取寄付金計	0	0	150,000	0	0	0	150,000	286,380	436,380
3. 受取助成金							0		0
受取民間助成金		361,300					361,300		361,300
受取助成金計	0	361,300	0	0	0	0	361,300	0	361,300
4. 事業収益							0		0
自主事業収入						4,338,150	4,338,150		4,338,150
受託事業収入	1,994,706	600,000			647,350	525,500	3,767,556		3,767,556
事業収益計	1,994,706	600,000	0	0	647,350	4,863,650	8,105,706	0	8,105,706
5. その他収益							0		0
受取利息							0	587	587
雑収益				120,000			120,000		120,000
その他利益計	0	0	0	120,000	0	0	120,000	587	120,587
経常収益計	1,994,706	961,300	150,000	120,000	647,350	4,863,650	8,737,006	652,967	9,389,973
科目	NPO支援	福玉便り	ヤキモタイム	クッキーPJ	講師派遣	書籍出版	事業部門合計	管理費部門合計	合計
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	530,800	288,000			20,000	90,800	929,600	1,708,800	2,638,400
法定福利費	33,211						33,211	295,317	328,528
人件費計	564,011	288,000	0	0	20,000	90,800	962,811	2,004,117	2,966,928
(2) その他経費									
売上原価						1,781,540	1,781,540		1,781,540
会議費	52,860					4,570	57,430	5,590	63,020
交際費								10,000	10,000
旅費交通費	74,160	9,450				241,463	325,073	152,940	478,013
通信運搬費	156,900	125,180	11,900			212,770	506,750	162,889	669,639
消耗品費	37,237	630			3,615	74,678	116,160	26,816	142,976
新聞図書費	7,130						7,130	45,645	52,775
研修費							0	28,711	28,711
印刷製本費	132,603					26,517	159,120		159,120
諸謝金	290,000	300,000			100,000	285,832	975,832		975,832
雑費	6,595	1,600	1,000			71,935	81,130	12,769	93,899
書籍販売原価							0		0
水道光熱費							0	69,266	69,266
支払地代家賃							0	671,000	671,000
諸会費							0	47,290	47,290
租税公課							0	600	600
その他経費計	757,485	436,860	12,900	0	103,615	2,699,305	4,010,165	1,233,516	5,243,681
経常費用計	1,321,496	724,860	12,900	0	123,615	2,790,105	4,972,976	3,237,633	8,210,609
当期経常増減額	673,210	236,440	137,100	120,000	523,735	2,073,545	3,764,030	-2,584,666	1,179,364

会計報告 2 ●財産目録

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金	手元現金	74,815		
普通預金		3,615,850		
	埼玉りそな銀行 南浦和支店	0		
	中央労働金庫 さいたま支店	580,716		
	埼玉りそな銀行 浦和中央支店	184,593		
	中央労働金庫 さいたま支店	81,730		
	ゆうちょ銀行 通常預金	86,531		
	ゆうちょ銀行 郵便振替口座	2,553,130		
	ゆうちょ銀行 郵便振替口座	129,150		
未収金	パンフレット作成受託料金	263,000		
前払費用		146,764		
	事務所賃料6月分	61,000		
	書籍印税前払い	85,764		
商品	書籍2,971冊	1,246,300		
流動資産合計			5,346,729	
固定資産				
敷金	事務所敷金	160,000		
固定資産合計			160,000	
資産合計				5,506,729
負債の部				
流動負債				
未払金		92,116		
	2013年5月分社会保険料 事業者負担 他	28,556		
	福玉便り郵送料5月分	63,560		
未払法人税等	2012年度 地方税均等割	70,000		
前受助成金	中央共同募金会助成金	638,700		
預り金		141,758		
	源泉所得税(給与)	18,570		
	源泉所得税(報酬)	93,932		
	2013年5月分 社会保険料 本人負担	29,256		
流動負債合計			942,574	
固定負債				
長期借入金	理事6名	870,000		
固定負債合計			870,000	
負債合計				1,812,574
正味財産合計				3,694,155

2013年5月31日現在
(単位：円)

会計報告 3 ●貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	74,815	未払金	92,116
普通預金	3,615,850	未払法人税等	70,000
未収金	263,000	前受助成金	638,700
前払費用	146,764	預り金	141,758
商品	1,246,300	流動負債合計	942,574
		固定負債	
		長期借入金	870,000
流動資産合計	5,346,729	固定負債合計	870,000
固定資産		負債合計	1,812,574
敷金	160,000	正味財産の部	
固定資産合計	160,000	前期繰越正味財産	2,584,791
		当期正味財産増減	1,109,364
		正味財産合計	3,694,155
資産合計	5,506,729	負債及び正味財産合計	5,506,729

2013年5月31日現在
特定非営利活動に係る事業の会計
(単位：円)

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正
NPO法人会計基準協議会）によっております。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準及び評価方法は最終仕入原価法によっております。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は別表の通りです。

3. 施設の提供等の物的サービス受入の内訳

内容	金額	算定方法	寄附者
さつまいも	78,000円	10Kg2000円×39箱	パルシステム埼玉
さつまいも郵送費	24,500円	700円×35ヵ所	埼玉労福祉協議会

※注記のみで活動計算書には受入評価益は計上しておりません。

5. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに
正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

担保提供している資産、保証債務、重要な後発事象は存在しておりません。

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は3,694,155円ですが
そのうち638,700円は、福玉便り事業に使用される財産です。したがって、使途等が制約
されていない正味財産は、3,055,455円です。

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
福玉便り事業	0円	1,000,000円	361,300円	638,700円	翌期に使用予 定の助成金
合計	0円	1,000,000円	361,300円	638,700円	

監査報告

監査報告書

特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉
代表理事 伊関友伸 様

平成 25 年 7 月 21 日
特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉
監事 寺内正幸

私は、特定非営利活動促進法第 18 条に基づき、特定非営利活動法人ハンズオン埼玉の第 8 期（平
成 24 年 6 月 1 日から平成 25 年 5 月 31 日まで）の理事の業務執行の状況及び財産の状況について監
査を行いました。

監査の方法は、理事会に出席して理事から事業の状況を聴取するほか、重要な会議の議事録等の閲
覧を行い理事に対して意見を述べ、また財産の状況については帳簿及び証憑書類の閲覧、照合、資産
の実査等を行いました。

監査の結果、理事の業務の執行の状況については法令及び定款に違反する事実は存在せず、また財
産の状況についても適正なもの認められます。

以上

大震災避難なお6700人

県内復興庁発表は4000人

東日本大震災の影響で、今年2月現在、自治体が把握している県内への避難者が、約6700人になることが支援団体の調査でわかった。復興庁が2月に発表した避難者数は4037人で約2600人少ない。県や自治体の調査方法にはつきがあるため、行政側が避難者の実態をいまだに把握し切れていない現状が改めて浮かび上がった。

支援団体まとめ

行政側実態把握しきれず

「震災支援ネットワーク埼玉」（SSN）や県労働者福祉協議会などをつくる避難者向けの情報誌「福玉便り」の編集委員会がまとめた。SSNは昨年6月、県内の全市町村に避難者の調査を実施。今回は2月、前回調査で避難者がいた55市町にアンケートをした。

帰還「迷う」…半数以上

「支援在り方考える必要」

避難者調査

避難者数の調査を担当した東京大学大学院の原田駿さん（28）は、福玉便りの読者にもアンケートを実施（回答231通）した。期待する生活支援を尋ねたところ、回答の半数以上は住宅や生活情報の充実を望んでいた。今後については、地元に戻る予定がある人は1割弱。「地元に戻りたいが、時期が決まらない」「迷っている」は半数以上だった。

原田さんは「病院の場所が分からないなどいまだに行き渡っているのか疑問の声も上がっている。委員会では、震災から2年の節目に県民に実態を知ってもらうため、冊子「福玉便り 特別号」を5千部制作。11日から順次配布している。16あり、市町村別の避難者数や交流会の情報を盛り込んだ地図、アンケート結果や避難者の声を掲載。避難者の生活や支援の実態が伝わる工夫をした。編集委員のNPO法人ハズオン埼玉の西川正常務理事は「埼玉では近くに多くの避難者がいるのに、震災が過去のことになりかけている。必要な支援はまだあり、冊子を読んで避難者たちの実態を知って欲しい」と話し、寄付などを呼びかけている。

「いか」と切り出された。夫が行き来するのに必要な月2万5千円の高速代や燃料費が家計に重くのしかかる。娘と長く過す。そうと、夫は金曜の深夜に来て月曜の明け方に帰る。眠気覚ましにと鉢巻きをぬらし、頭に巻いて出発する姿を見ると泣きそうになる。女性は、川越の支援者が月1回開く交流会に欠かさず出席している。同郷の人とおしゃべりし、ハンドマッサージなども受けられる。被災者関連の情報も得られ、「原発事故子ども・被災者支援法」の勉強会には、託児を利用して参加した。女性は「アットホームで和める。交流の場はありがたい」と喜ぶ。

福玉便り特別号や寄付の問い合わせは県労働者福祉協議会（048・8333・8731）。（帯金真由）

▲朝日新聞埼玉版 2013年3月12日

避難生活の冬、焼き芋交流で心温かく

加須・騎西中央公園



「かぞびば」で遊ぶ橋本さん親子＝ハズオン埼玉提供

東日本大震災で避難している子どもたちが地元の子と遊びで交流できる場にと、加須市の騎西中央公園で月2回開かれている「かぞびば」で15日、たき火を囲んで焼き芋をする「ヤキイモタイム」が開催される。主催者は、県内にいる避難家族にも広く参加を呼びかけている。

「かぞびば」は、禁止事項がなく、自由に遊べる「冒険遊び場」。たき火や木登り、泥遊び、穴掘りなど何でもできる。環境が変化し、思い切り遊ぶことができない避難中の子どもたちのため、埼玉冒険遊び場づくり連絡会が今春から開催した。今回は多くの避難者に存在を知ってもらおうと、NPO法人「ハズオン埼玉」などが協力。毎年実施している地域交流のための焼き芋イベントを開くことにした。

月2回冒険遊び場、親子「幸せな気持ち」

参加予定の福島県双葉町役場職員、橋本靖治さん（39）は、慣れない団地で避難生活を送る。2人の子どもの家で過ごす時間が長くなってしまい、遊び場に言い始めた。「汚れる」「けがする」と遊びを制限してきたが、泥や絵の具にまみれて夢中で遊ぶ姿に「驚いた。遠慮がちなだった長女（8）は、自由な遊びを通じ、はつきりと思表示するようになったという。避難中の子どもの中には、親に負担をかけまいと我慢したり、周囲に気を使って双葉の思い出を封印したりする傾向があるという。一方、親も避難生活を強いている負い目があり、橋本さんは「子どもが遊びに没頭し、心から楽しむ姿を見ると、親も幸せな気持ちになります」と話す。遊びだと、親も子どもと交流が生まれてくるという。県内には約20カ所の冒険遊び場があり、主催者側は「孤立しがちな母子避難家庭など、気負わず交流できる場として知ってもらいたい」としている。

時間は午前11時～午後3時。無料。自由に誰でも参加できる。問い合わせはハズオン埼玉（048・8334・2052）へ。（帯金真由）